

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	練馬区立こども発達支援センター 放課後等デイサービス キッズ				公表日	令和8年4月8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	発達支援室の広さは十分だった。体を動かす活動を行う場合は、さらに広い部屋や校庭を使用した。	引き続き適切な環境の維持に努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	こどもの状態に応じて、個別の対応もできるように職員配置を行った。	個別の対応ができる職員配置を維持していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	構造化を含め、安全な環境を提供してきた。	引き続き適切な環境の維持に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	清潔な空間を維持するとともに、こども達の活動に合わせた空間を用意してきた。	清潔な空間の維持に努める。こども達の活動に合わせた空間の選択も引き続き行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	必要に応じてロビーで個別の対応ができるように体制を整えていた。	ロビーだけでなく、個別の対応ができる別室も準備しておく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	目標設定と振り返りを行いながら支援内容の改善に努めてきた。	今後も職員間で共有を図りながらPDCAサイクルを継続していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者アンケートや日々の連絡等を通して、意見を把握し、支援の改善に活かしている。	保護者からの意見をより反映できる仕組み作りを継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	定期的に会議を行い。職員の意見の把握に努めた。	今後も職員の意見を把握できる場を設けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	外部評価等の機会を活用し、支援内容の見直しを行っている。	外部からの意見も参考にしながら、支援の質の向上に努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	法人内研修や外部研修への参加を通して、職員の専門性向上に努めている。	今後も研修の機会を確保し、知識の共有を図っていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成し、保護者にその内容を公表してきた。	支援内容がより分かりやすく伝わるよう、情報提供の工夫を行う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	アセスメントを実施し、こどもや保護者のニーズを踏まえた支援計画を作成している。	定期的な見直しを行い、より適切な計画作成に努めていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員間で情報共有を行い、共通理解のもと支援計画を作成している。	引き続き情報共有を徹底し、支援の質向上に努める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を実施している。	定期的に支援内容を確認し、必要に応じて見直しを行う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	日々の支援の中で子どもの様子を記録し、支援に活かしている。必要に応じてフォーマルアセスメントも活用している。	より適切なフォーマルアセスメントの実施について、検討していく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	本人支援・家族支援の視点を取り入れた支援計画を作成している。	支援内容がより具体的になるよう計画作成の充実を図る。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員間で意見交換を行いながら、活動プログラムを作成している。	今後もチームでの検討を継続し、活動内容の充実を図る。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	こどもの興味や状況に応じて活動内容を工夫している。	今後も活動内容の工夫を継続する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	こどもの状況に応じて集団活動の内容を工夫し、支援を行った。	個々のニーズに応じた個別活動の充実については、今後検討していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援前に職員間で打合せを行い、役割分担や支援内容の確認を行っている。	今後も職員間での連携を図りながら支援を実施する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援終了後に振り返りを行い、気づきや課題を共有している。	振り返りを継続し、支援内容の改善につなげていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の支援に関して記録をとり、支援内容の確認に活用している。	記録を支援内容の改善に生かす取り組みを継続する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的にモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っている。	今後も状況に応じた見直しを行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	ガイドラインの基本活動を踏まえた支援を実施している。	引き続き活動内容の充実を図っていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	活動の中に、こども同士で話し合い、活動内容を選択できる機会を設けている。	引き続き自己決定を促す支援の充実を図る。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	2	必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。	関係機関との会議に必要な応じて対応できる体制づくりを進めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。	地域の関係機関との連携について、対応できる体制づくりを進めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	学校を訪問し、対象児童の学校での様子を観察し、担任との情報共有を行った。	今後も学校との連携を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	幼児期の様子については、必要に応じて保護者からの情報提供を受けながら支援を行っている。	就学前施設等の連携の在り方について、今後検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	現在の利用児の状況に応じた支援を行っている。	移行支援について、必要に応じて情報提供等の対応を検討する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	児童発達支援センターとして、地域の関係機関との連携や情報共有を行っている。	必要な外部研修を活用し、専門性の向上を図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	現在は施設内での支援活動を中心に実施している。	地域交流の機会について、今後の実施の可能性を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	自立支援協議会に参加している。	今後も積極的に参加をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	保護者と日常的に情報共有を行っている。	引き続き、丁寧な情報共有に努める。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	保護者向けの勉強会を実施し、こどもの特性理解や関わり方について情報提供を行っている。	保護者支援の取り組みについて、今後も内容の充実を図る。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に重要事項について説明を行っている。	引き続き、丁寧な説明を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	こどもや保護者の意向を確認しながら計画を作成している。	意向確認の機会を継続して設けていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	放課後等デイサービス計画の内容について説明を行い、同意を得ている。	引き続き、丁寧な説明を行う。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者からの相談に応じ、面談等を通して助言や支援を行っている。	今後も相談・支援の充実を図る。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	必要に応じて、保護者との情報交換を行っている。	保護者同士の交流の機会を設けることについて、検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	苦情対応体制を整備し、対応を行っている。	苦情対応体制について、利用者にはっきりと周知していく必要がある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3	必要に応じて、保護者への情報提供を行っている。	ホームページやSNSを利用者の情報発信には利用しておらず、今後の検討課題とする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報の取扱いについて、適切な管理を行っている。	引き続き、適切な管理を徹底していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	こどもや保護者の状況に応じて、わかりやすい説明や情報共有を行っている。	引き続き丁寧な意思疎通に努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	事業所内での支援活動を中心に実施している。	地域に開かれた事業運営については、今度検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	必要な安全対応について訓練を実施し、職員間で確認・共有している。	引き続き、必要な訓練を実施していくとともに、保護者への周知をしっかりと行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPを策定し、非常時への備えを行っている。	訓練等を通じて体制の確認を継続する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	健康状態や服薬状況等を事前に確認している。	引き続きこどもの安全管理を徹底する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	保護者からアレルギーに関する情報を得ている。	食事やおやつの提供は行っていないが、必要に応じて対応方法について検討する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を作成し、安全管理体制を整備している。	安全管理体制の維持・向上を図る。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	安全計画を作成し、安全確保に配慮した支援を行っている。	安全計画に基づく取組内容について、保護者への周知を図る必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット事例を共有し、再発防止に努めている。	今後も共有を継続する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止に関する研修を実施している。	引き続き研修機会の確保を図る。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束に関する方針を定め、保護者に説明を行っている。	引き続き適切な対応を行っていく。	